



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年3月16日

上場会社名 天馬株式会社

上場取引所 東

コード番号 7958 URL <https://www.tenmacorp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤野 兼人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長 (氏名) 須藤 隆志

TEL 03-3598-5515

四半期報告書提出予定日 2020年3月16日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	63,953	2.2	2,336	69.0	2,664	44.7	2,039	61.1
2019年3月期第3四半期	62,606	9.4	1,382	8.7	1,841	16.2	1,265	24.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,769百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 239百万円 (84.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	84.50	
2019年3月期第3四半期	52.44	

(注) 2020年3月期第3四半期の包括利益の対前年同四半期増減率は、1,000%を超えるため、「-」と記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	93,251	73,837	79.2	3,060.18
2019年3月期	91,961	74,730	81.3	3,097.16

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 73,836百万円 2019年3月期 74,730百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		60.00	80.00
2020年3月期		40.00			
2020年3月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	6.2	3,000	27.7	3,200	2.4	2,500	11.0	103.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	26,813,026 株	2019年3月期	27,813,026 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	2,684,867 株	2019年3月期	3,684,549 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	24,128,350 株	2019年3月期3Q	24,128,998 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)における世界経済は、米国での良好な雇用・所得環境を背景とした堅調な企業業績が牽引し緩やかな拡大傾向が続きましたが、米中貿易摩擦の長期化・深刻化による景気減速、英国のEU離脱問題、地政学的リスクの高まり等により、先行きは不透明な状況が続いております。

日本経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、景気は緩やかな回復基調が持続しましたが、足元では2019年10月に実施された消費増税等により消費者マインドの低下も見られ、消費者の低価格志向は根強く、また、中国を始めとする海外の景気減速を受けて今後の経済への影響が懸念される状況となりました。

このような状況の中、当社グループは第2次中期経営計画の経営戦略である、「①要素技術である射出成形技術と金型等周辺技術の深耕」、「②グローバル戦略の推進」、「③国内自社製品分野の採算性改革」、「④製造工程における自動化推進」、「⑤海外拠点の人材育成強化」に注力し、特に、需要が旺盛な東南アジアを中心に設備投資を行うことによりグローバル戦略を推進してまいりました。

当社は、2019年12月2日付「当社海外子会社における不正行為について」でお知らせしましたとおり、第三者委員会を設置し、2020年3月13日に同委員会より調査報告書を受領いたしました。当社は、調査報告書の内容を検討した結果に基づき、過年度の有価証券報告書等の訂正を行いました。

当社といたしましては、現在、第三者委員会から報告された調査結果について検証を行っておりますが、第三者委員会からの指摘・提言を踏まえた実効性のある再発防止策を早期に策定し、当社グループ一丸となって信頼の回復に努めてまいります。

株主・投資家の皆様、お取引先様をはじめ関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけしておりますことを改めて深くお詫び申し上げます。

この結果、売上高は63,953百万円(前年同期比102.2%)となり、営業利益は2,336百万円(前年同期比169.0%)、経常利益は2,664百万円(前年同期比144.7%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,039百万円(前年同期比161.1%)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(日本)

ハウスウエア合成樹脂製品分野及び関連商品においては、当社人気シリーズを「不透明ホワイト」で統一したカラー企画「MONO color selection」の導入や、新シリーズ「大きく開くコンテナ」のアイテム追加等により拡販致しましたが、消費増税等の影響により前年同期に比べ売上が減少しました。また、工業品合成樹脂製品分野につきましては、車両関連の受注が減少したことにより売上が減少しました。利益面につきましては、物流コストの増加等に対処するため、製品構成や販売価格の見直し等を実施したことにより大幅増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、17,332百万円(前年同期比95.6%)となり、セグメント利益(営業利益)は647百万円(前年同期比209.1%)となりました。

(中国)

工業品合成樹脂製品分野において、取引先の生産が東南アジアへシフトする状況が続くなか、天馬精密注塑(深圳)有限公司を中心に新規受注の獲得等により売上が伸長しました。ハウスウエア合成樹脂製品分野においては、引き続き2拠点体制での生産・販売活動を行いましたが、EC販売の伸び悩み等により売上は微減となりました。利益面につきましては、売上の増加、稼働の向上及び生産活動の効率化により増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、18,436百万円(前年同期比107.1%)となり、セグメント利益(営業利益)は991百万円(前年同期比139.4%)となりました。

(東南アジア)

工業品合成樹脂製品分野において、引き続き旺盛な東南アジアでの需要を確実に捉え、ベトナムのTENMA VIETNAMCO., LTD.及びタイのTENMA (THAILAND) CO., LTD.で売上が伸長し、インドネシアのPT. TENMA INDONESIAにおいても車両関連の受注が堅調に推移しました。利益面につきましては、前期に発生していた立上げに伴う先行費用を、売上の増加と改善活動の継続により着実に回収し、前年同期比で大きく増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、28,185百万円（前年同期比103.3%）となり、セグメント利益（営業利益）は1,518百万円（前年同期比138.1%）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,291百万円増加し、93,251百万円となりました。これは、現金及び預金1,994百万円、受取手形及び売掛金が1,216百万円、それぞれ減少しましたが、国際財務報告基準を適用している海外子会社において、国際財務報告基準第16号「リース」を適用したことにより、有形固定資産の使用権資産が3,856百万円増加したこと、及び建物及び構築物が1,569百万円増加したこと等によりま

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて2,184百万円増加し、19,415百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が1,418百万円減少しましたが、固定負債のリース債務が3,627百万円増加したこと等によりま

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて893百万円減少し、73,837百万円となりました。これは、自己株式の消却等により資本剰余金が1,451百万円減少し、控除項目である自己株式が1,451百万円減少したこと、及び為替換算調整勘定が600百万円減少したこと等によりま

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における連結業績は概ね想定の範囲内で進捗しておりますので、2020年3月期の業績予想につきましては、2019年11月8日に公表いたしました内容を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,011,614	29,018,088
受取手形及び売掛金	17,437,062	16,221,282
商品及び製品	3,125,209	2,682,939
仕掛品	628,217	636,258
原材料及び貯蔵品	3,820,686	3,657,319
その他	1,516,635	1,694,563
貸倒引当金	△2,906	△1,864
流動資産合計	57,536,517	53,908,586
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,327,840	11,897,154
機械装置及び運搬具(純額)	10,525,109	10,466,460
使用権資産	—	3,855,832
その他	4,893,223	4,232,115
有形固定資産合計	25,746,172	30,451,560
無形固定資産	3,096,443	2,989,812
投資その他の資産		
投資有価証券	3,800,413	4,156,336
退職給付に係る資産	1,234,743	1,258,722
繰延税金資産	37,538	56,280
その他	515,790	436,830
貸倒引当金	△6,734	△6,650
投資その他の資産合計	5,581,750	5,901,518
固定資産合計	34,424,365	39,342,891
資産合計	91,960,882	93,251,476
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,095,711	8,677,429
未払法人税等	325,524	213,548
賞与引当金	855,978	802,649
租税関連費用引当金	148,001	147,207
その他	3,878,707	3,946,177
流動負債合計	15,303,921	13,787,010
固定負債		
役員株式給付引当金	60,280	89,231
退職給付に係る負債	353,762	345,179
リース債務	—	3,626,918
資産除去債務	204,908	208,240
繰延税金負債	1,051,407	1,101,673
長期未払金	256,695	256,695
固定負債合計	1,927,052	5,627,936
負債合計	17,230,973	19,414,946

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,225,350	19,225,350
資本剰余金	18,982,736	17,531,538
利益剰余金	39,241,810	38,832,757
自己株式	△5,405,075	△3,954,500
株主資本合計	72,044,821	71,635,145
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	895,356	1,064,183
為替換算調整勘定	1,385,740	785,813
退職給付に係る調整累計額	403,924	351,318
その他の包括利益累計額合計	2,685,020	2,201,313
非支配株主持分	68	72
純資産合計	74,729,910	73,836,530
負債純資産合計	91,960,882	93,251,476

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	62,605,802	63,952,642
売上原価	52,750,108	52,930,212
売上総利益	9,855,693	11,022,430
販売費及び一般管理費	8,473,455	8,686,762
営業利益	1,382,238	2,335,668
営業外収益		
受取利息	111,301	123,559
受取配当金	127,098	121,221
持分法による投資利益	—	52,118
投資有価証券売却益	178,430	—
為替差益	32,571	26,638
その他	107,429	95,333
営業外収益合計	556,828	418,868
営業外費用		
支払利息	—	21,823
売上割引	74,691	62,505
開業費償却	18,537	—
その他	4,834	5,718
営業外費用合計	98,062	90,047
経常利益	1,841,004	2,664,490
特別利益		
固定資産売却益	19,189	123,068
特別利益合計	19,189	123,068
特別損失		
固定資産売却損	8,873	7,772
固定資産除却損	59,367	164,601
特別損失合計	68,241	172,373
税金等調整前四半期純利益	1,791,952	2,615,185
法人税等	526,583	576,434
四半期純利益	1,265,370	2,038,751
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,265,376	2,038,747

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,265,370	2,038,751
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△574,325	168,827
為替換算調整勘定	△419,050	614,027
退職給付に係る調整額	△32,884	△52,606
その他の包括利益合計	△1,026,259	730,248
四半期包括利益	239,111	2,768,999
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	239,123	2,768,995
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

当社は、2020年3月13日付にて第三者委員会から調査報告書を受領し、当社の海外子会社において税務調査等に関連して外国公務員に対する複数の金銭交付あるいはその疑いのある行為が行われていた旨の調査結果が報告されました。当社としては、現在、当該調査結果について検証を行っておりますが、今後速やかに関係機関と連携してその是正措置に取り組んでいく所存です。当該事案に関して、今後、当社に制裁金が科されるおそれがありますが、関連する法的手続は多くの不確実性及び複雑な要素を含んでおり、現時点でその影響額を合理的に見積ることは困難であるため、四半期連結財務諸表には反映しておりません。また、海外子会社の所在地国においても現地において類似の制裁金が科されるおそれがありますが、現時点ではその影響額を合理的に見積ることは困難であるため、四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の消却)

当社は、2019年2月8日開催の取締役会決議に基づき、2019年6月28日付で、自己株式1,000,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ1,451,180千円減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の有形固定資産の「使用権資産」が3,855,832千円増加し、流動負債の「その他」が210,636千円及び固定負債の「リース債務」が3,626,918千円増加しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は27,960千円減少しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	18,123,335	17,208,961	27,273,507	62,605,802
セグメント間の内部売上高 又は振替高	69,709	160,132	1,394	231,235
計	18,193,044	17,369,092	27,274,900	62,837,037
セグメント利益	309,405	710,679	1,098,787	2,118,872

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,118,872
セグメント間取引消去	△13,242
全社費用(注)	△723,391
四半期連結損益計算書の営業利益	1,382,238

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	17,331,642	18,436,130	28,184,870	63,952,642
セグメント間の内部売上高 又は振替高	70,719	110,120	81	180,920
計	17,402,361	18,546,250	28,184,951	64,133,562
セグメント利益	646,862	990,906	1,517,808	3,155,576

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,155,576
セグメント間取引消去	12,966
全社費用(注)	△832,874
四半期連結損益計算書の営業利益	2,335,668

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。